令和5年度 **御館山小グランドデザイン** Ver. 1 (R5.4.6) 【学校教育目標】

心豊に、たくましく生きる児童の育成

【めざす児童像】

やさしい子(真心)にこにこ

·R5重点目標 他を思いやり 笑顔で助け合える子

- ○あいさつができる子
- ○助け合いができる子
- ○思いやりがある子

まなび子(知恵)こつこつ

R5重点目標 自分に自信をもち 自ら進んで学びに向かえる子

- ○自ら進んで学習に取り組める子
- ○基礎的な知識及び技能を習得できる子
- ○思考力・判断力・表現力を身に付ける ことができる子

がんばる子(やる気)わくわく

R5重点目標: 目標をもち わくわくしながら挑戦する子

- ○自ら進んで体を鍛えることができるろ
- ○夢(目標)に向かってひたむきに努力する子
- ○がまん強く集中できる子

めざす教師像

○共に喜ぶ教師 ○共に学ぶ教師 ○共に働く教師

子どもと共に、悩み、考え、汗を流し、夢を語れる教師

めざす学校像・

○学ぶ学校 ○美しい学校 ○動く学校

子どものために誠実で、笑顔があふれた、信頼される学校

舎和 5 年度スローガン

笑顔あふれる 「た」「ち」 ー が 見つけよう夢を

を 高めよう志へ (助け合おう友と) 知恵と

やさしい子

①他を思いやる心の育成(※課題)

- 道徳教育の充実
- ・人権教育を日常に・・・
- ・特別活動の充実

「つながる」 経験の充実

②正しい相互理解

- 特別支援教育の充実
- ・保護者・関係機関との積極的連携

③居場所のある教室

・児童一人一人に寄り添う指導の充実 ※行動の裏にある原因を丁寧に・・・ ※良さを認めて伸ばす・・・

「あいさつを交わし合う学校」(おはよう・さようなら) 『感謝の言葉が飛び交う学校』(ありがとう・嬉しい) 『認め合う学校』(すごいね・さすが)

まなぶ子

①学力向上

- 主体的・対話的に学ぶ授業 (授業力向上に向けての取組)
- ・ 学習規律・学習習慣の定着
- ・ICT機器の有効活用

全職員で取り組む校内研究の充実 (研究指定の効果的活用)

②自己肯定感を高める評価活動

- 「良さを認める」「良さを引き出す」
- ・「正しい自己理解」
- ⇒個々の児童に「前向き」で「適切」な 目標を持たせる
- ⇒学習意欲の向上

がんばる子

①憧れや目標の具体化

- ・「PDCAサイクル」を明確にさせた実践活動 「目標設定」「見通し」「自己評価」
- ⇒ 「達成感」⇒ 「次への目標」 未来に夢を持つ「キャリア教育」(夢を語る)

②挑戦を応援する環境作り

- ・目標を共に語り励ます教師
- 全校みんなで目標を達成し喜び合う取組

全校で取り組む ○御小『真心10』の実現

○無言掃除の確立

③体力向上

・ 心身の体力育成 (最後までやり抜く心と身体)

①心身の健康

- ・規則正しい生活 (※特に「早寝」「メディアコントロール」)
- ②感染症対策
- ・「基本的対策の凡事徹底」と「新しい生活様式の模索」

特別支援教育

人権・平和教育

教育環境の整備

健康·安全指導·食育

読書指導

- ・個々の個性を大切に
- ★正しい相互理解の促進
- ・保護者・関係機関との連携 ★人権・平和を日常に…
- ・ 人権教育の充実 ・長崎県に育つ児童への平和教育

- ★心身の安全を補償する環境整備 ・学習活動充実のための整備
- ・明るい環境、季節を感じる環境
- ・衛生環境の保持。
- ・衛生、健康、正しい食習慣の定着。 児童自身の危機管理意識の向上
- 夢、憧れを音む読書指導
- ・オープン図書室の効果的運営
- ・図書ボランティアさんとの効果的連携

家庭・地域との連携(地域と共にある学校)

- ○PTA活動の充実(コロナ禍を抜けたPTA活動の在り方の模索)
- ○学校支援会議との連携(『地域の核となる学校づくり』)
 - ~『School for area Area for school』(『学校は地域のために 地域は学校のために』)
- ○明峰中学校区の保・小・中連携(12年間の育ちを見据えた連携)

働きがいのある職場

- ○『働き方改革』の推進
- ○「風通しの良い職場」「何でも相談できる職場」
- ○「互いに認め合い個々の個性が発揮できる職場」